平成 24 年 7 月 23 日

各　　位

会 社 名　　株式会社　島根銀行
代表者名　　代表取締役頭取　田頭　基典
（東証第一部　コード番号　7150）
問合せ先　　総合企画グループ　部長　松井　和城
Ｔ　Ｅ　Ｌ　　0852（24）1239

平成 24 年度　しまぎん経営情報説明資料の開示について

株式会社島根銀行（頭取　田頭基典）は、皆さまに対し、当行の主要な経営情報を分かりやすくお伝えするため、「平成 24 年度　しまぎん経営情報説明資料」を作成いたしました。是非、ご覧いただき、当行に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

以上

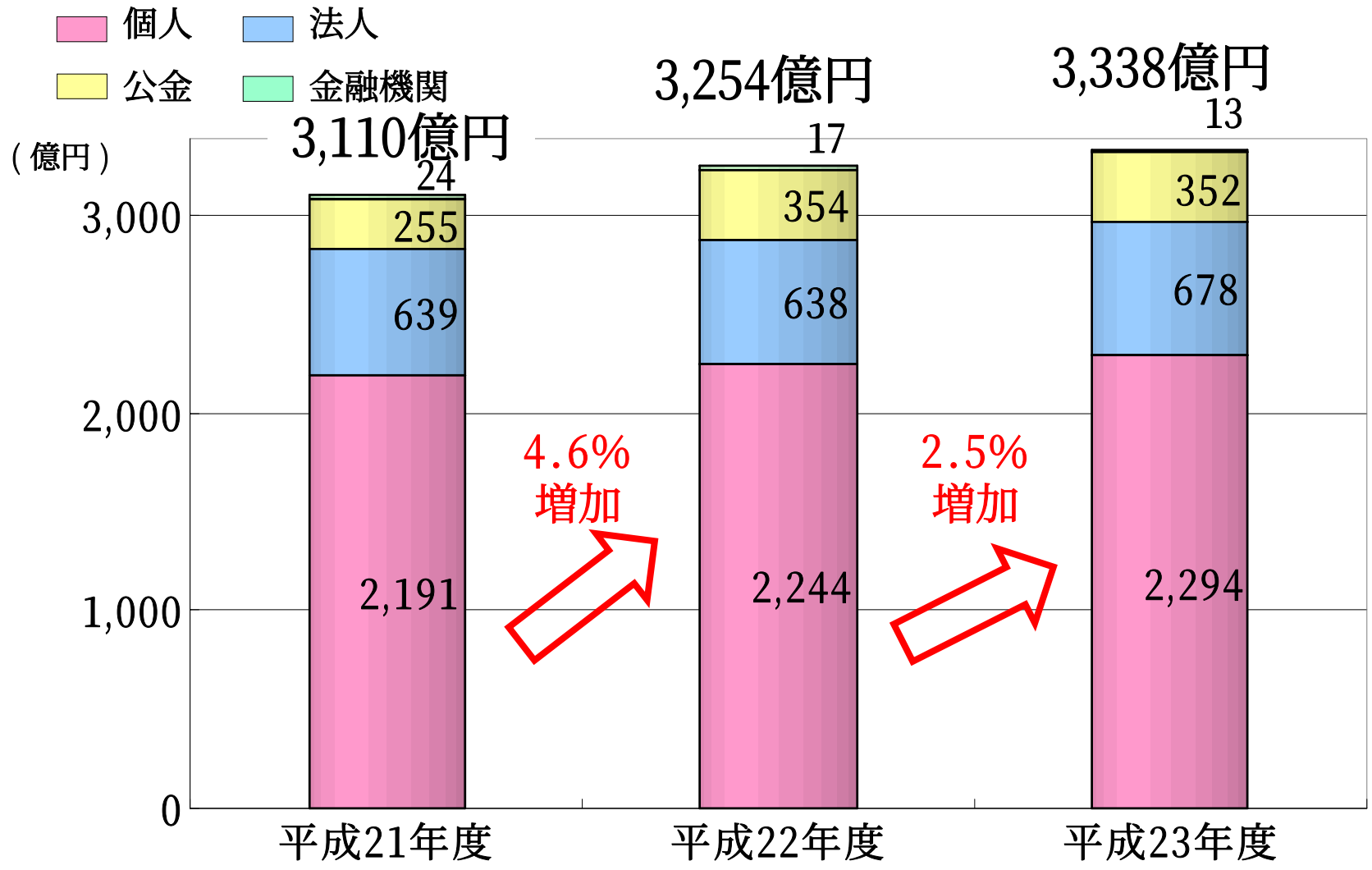
＜平成24年度＞

しまぎん経営情報説明資料

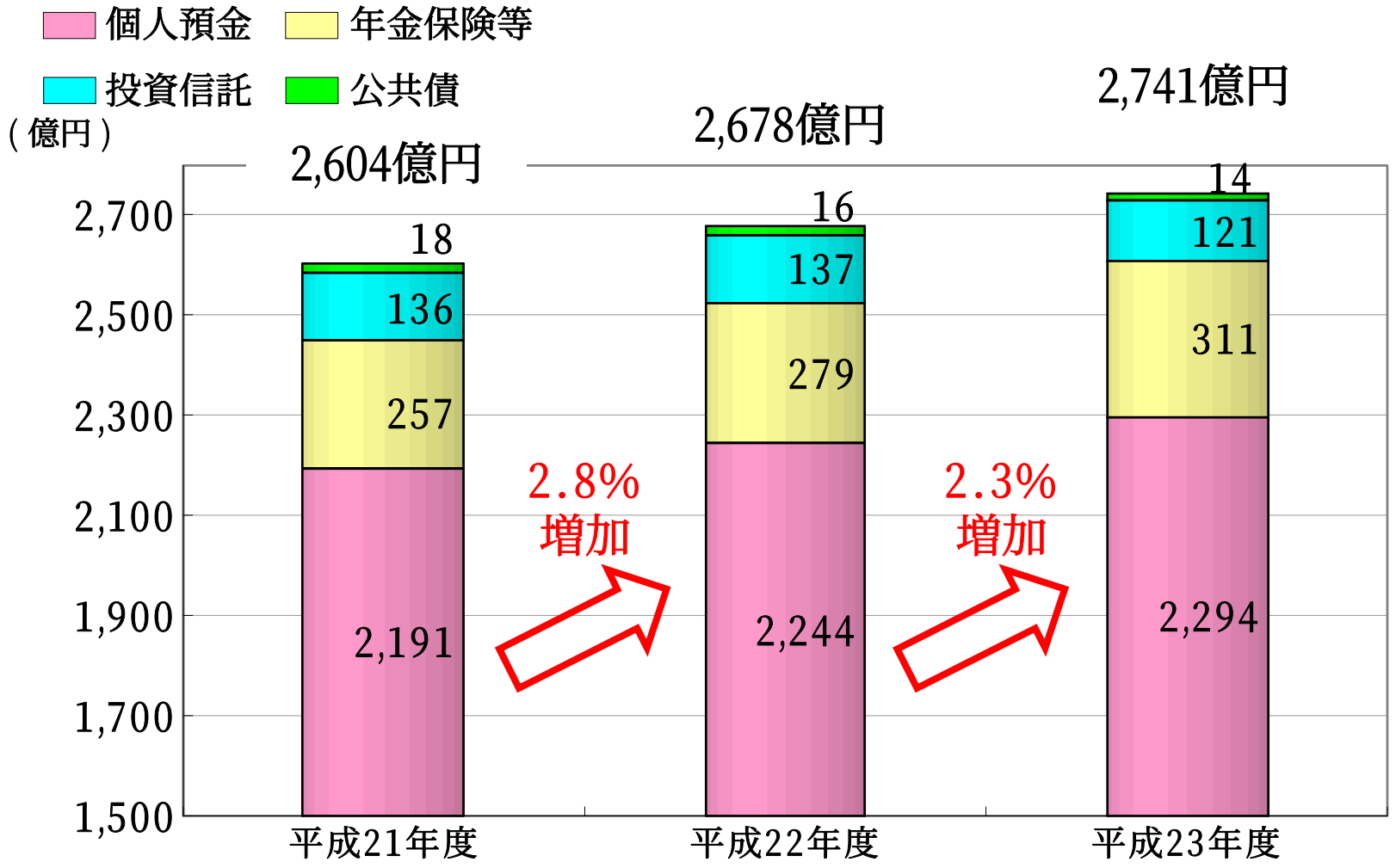


島根銀行

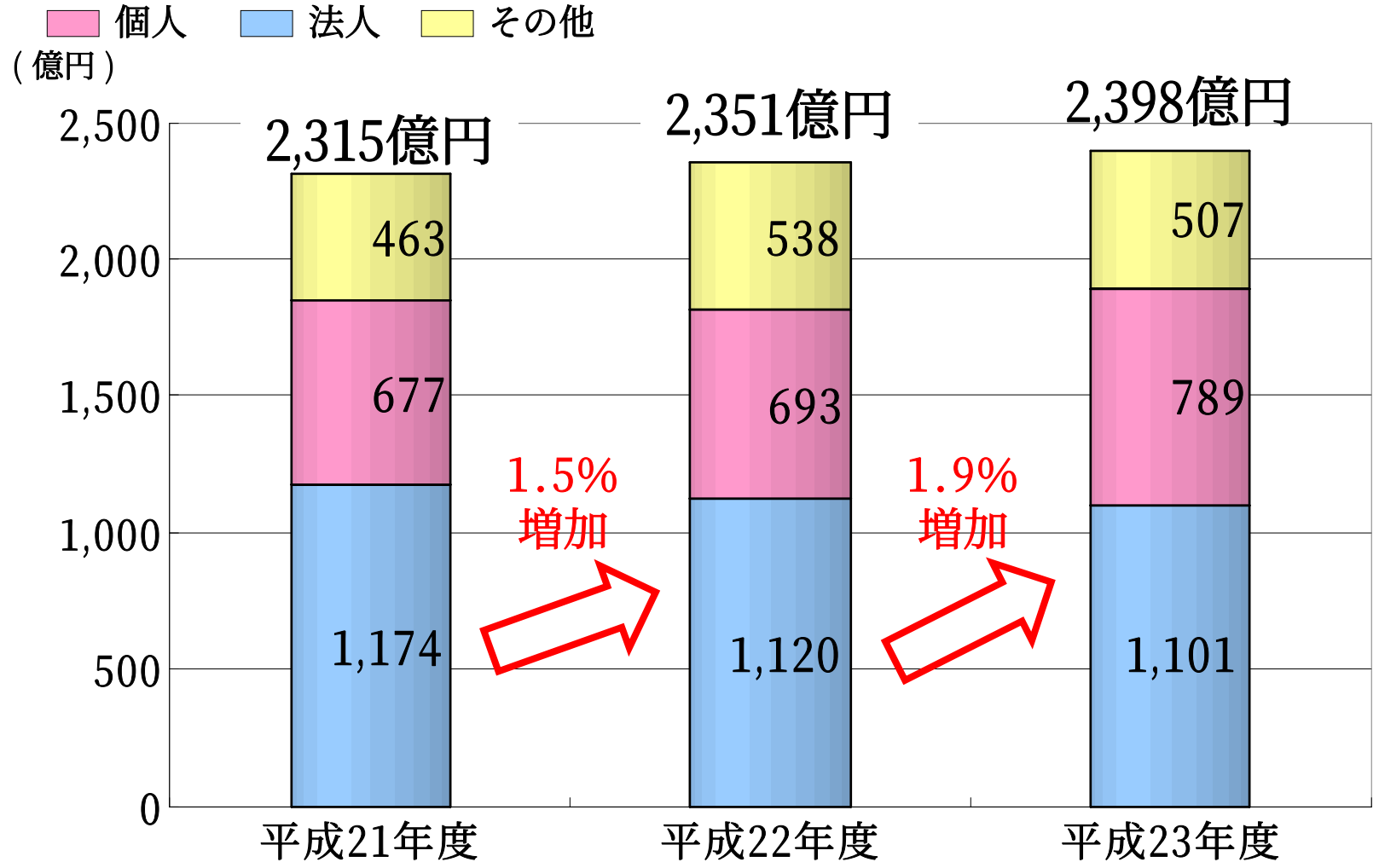
預金残高の推移


個人
法人
公金
金融機関
（億円）
3,000
2,000
1,000
0
3,110億円
24
255
639
2,191
3,254億円
17
354
638
2,244
3,338億円
13
352
678
2,294
4.6%
増加
2.5%
増加
平成21年度
平成22年度
平成23年度

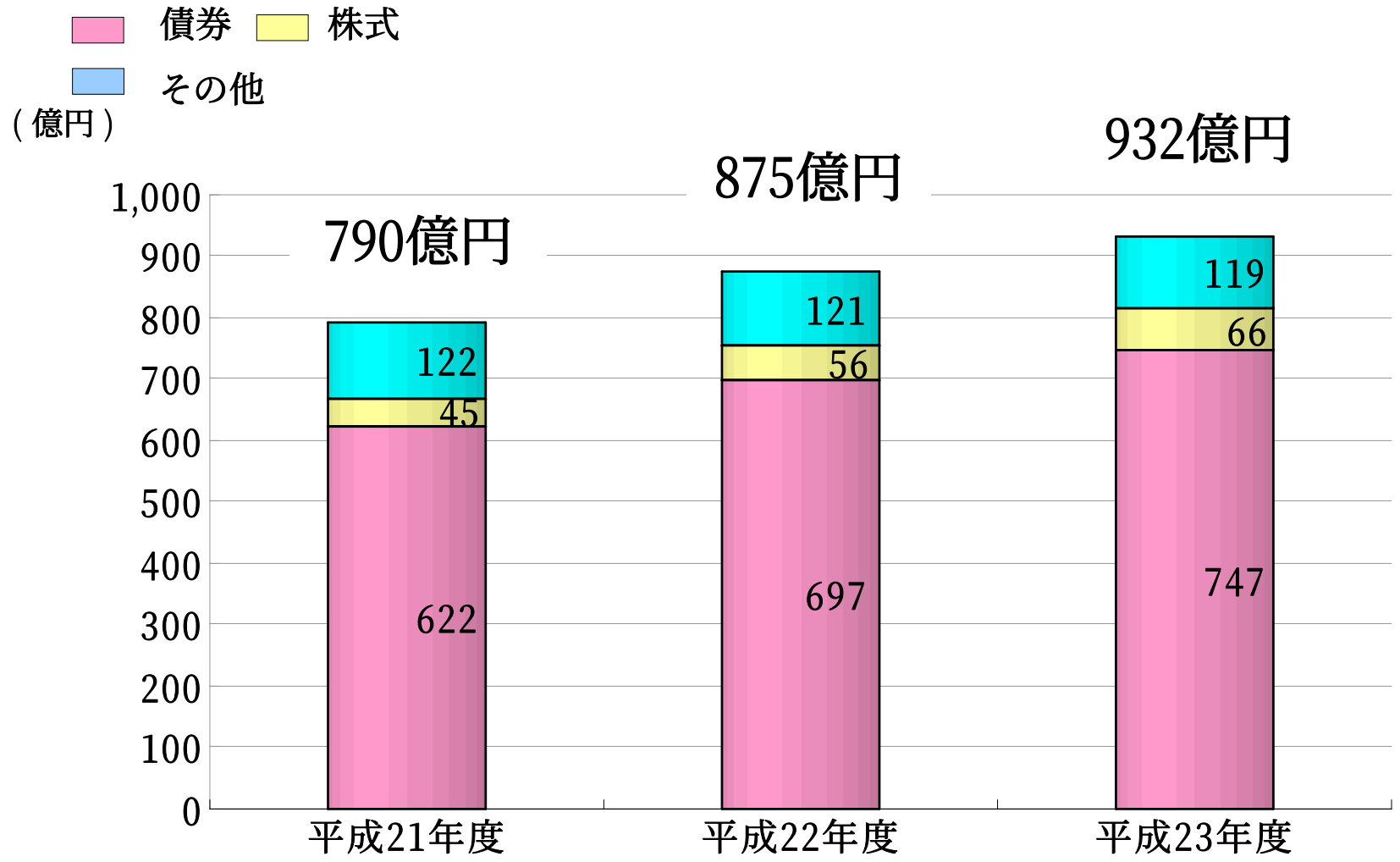
個人預り資産の推移


個人預金
年金保険等
投資信託
公共債
（億円）
2,604億円
2,678億円
2,741億円
2,700
2,500
2,300
2,100
1,900
1,700
1,500
18
136
257
2,191
16
137
279
2,244
14
121
311
2,294
2.8%
増加
2.3%
増加
平成21年度
平成22年度
平成23年度

貸出金残高の推移


個人
法人
その他
（億円）
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
2,315億円
2,351億円
2,398億円
463
677
1,174
538
693
1,120
507
789
1,101
1.5%
増加
1.9%
増加
平成21年度
平成22年度
平成23年度

有価証券残高の推移


債券
株式
その他
（億円）
1,000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
790億円
875億円
932億円
122
45
622
121
56
697
119
66
747
平成21年度
平成22年度
平成23年度

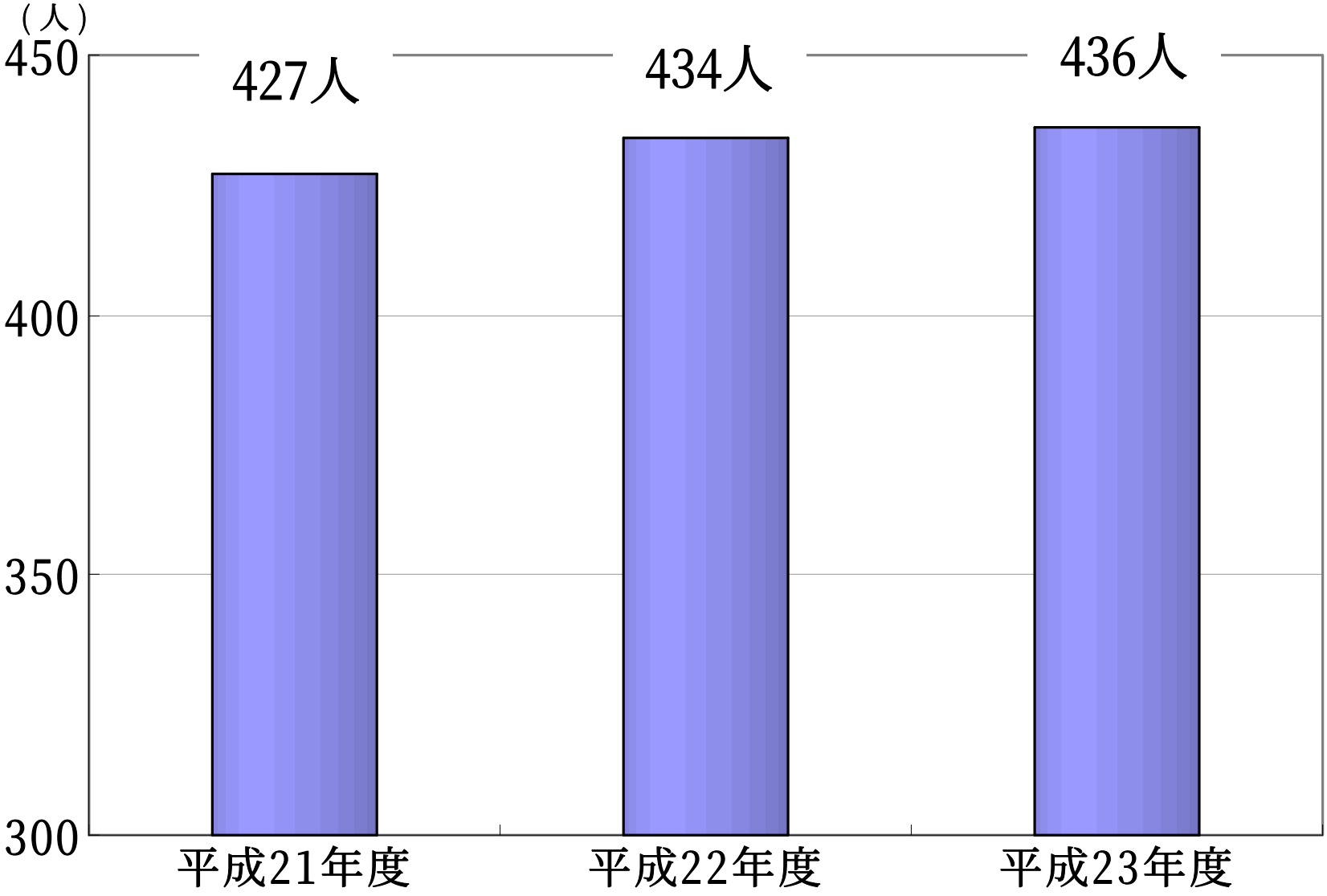
収益の状況

(単位:百万円)

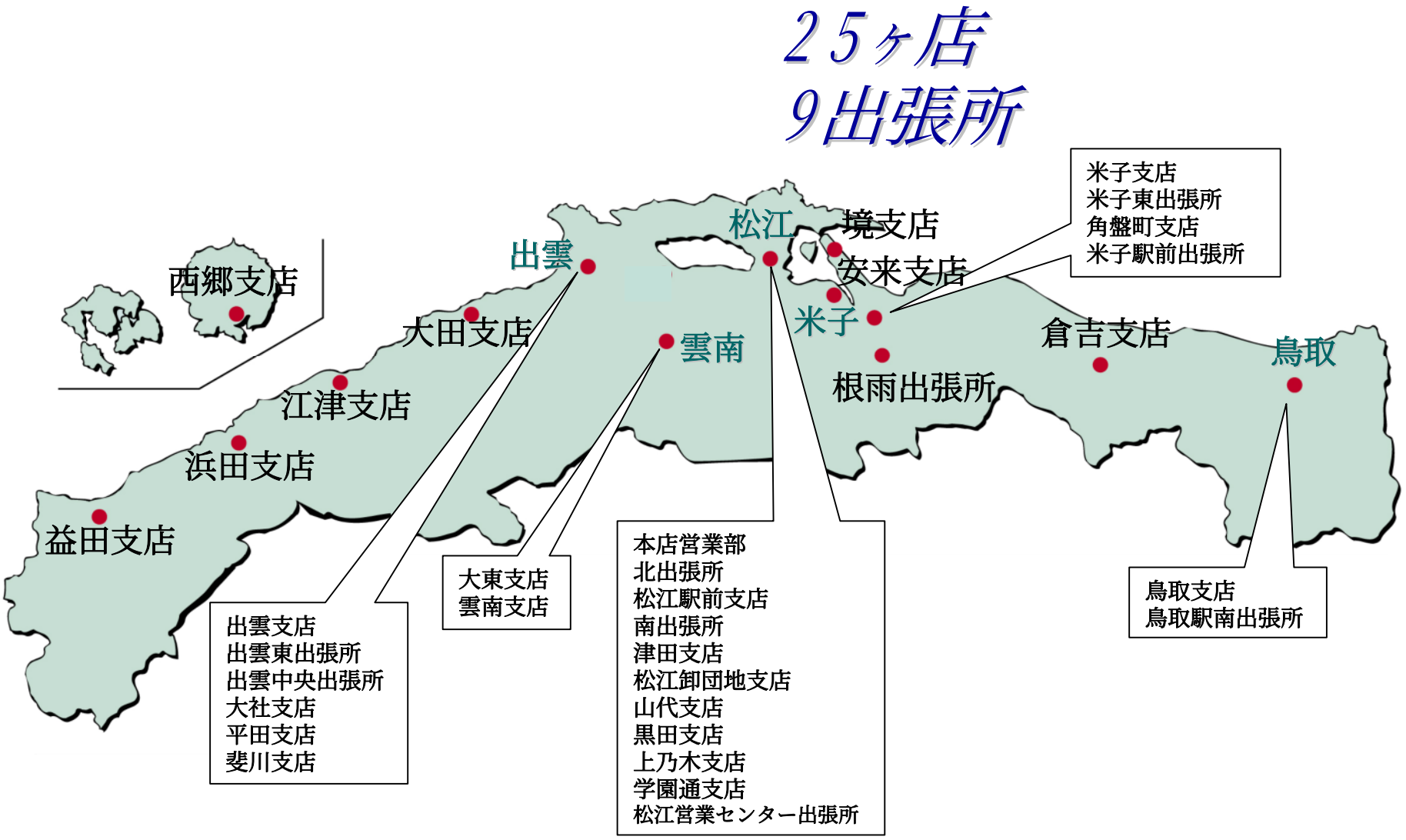
	平成22年度	平成23年度	増減
経常収益	7,780	7,582	▲197
経常費用	6,822	6,631	▲191
経常利益	957	951	▲6
当期純利益	609	658	48

過去最高益

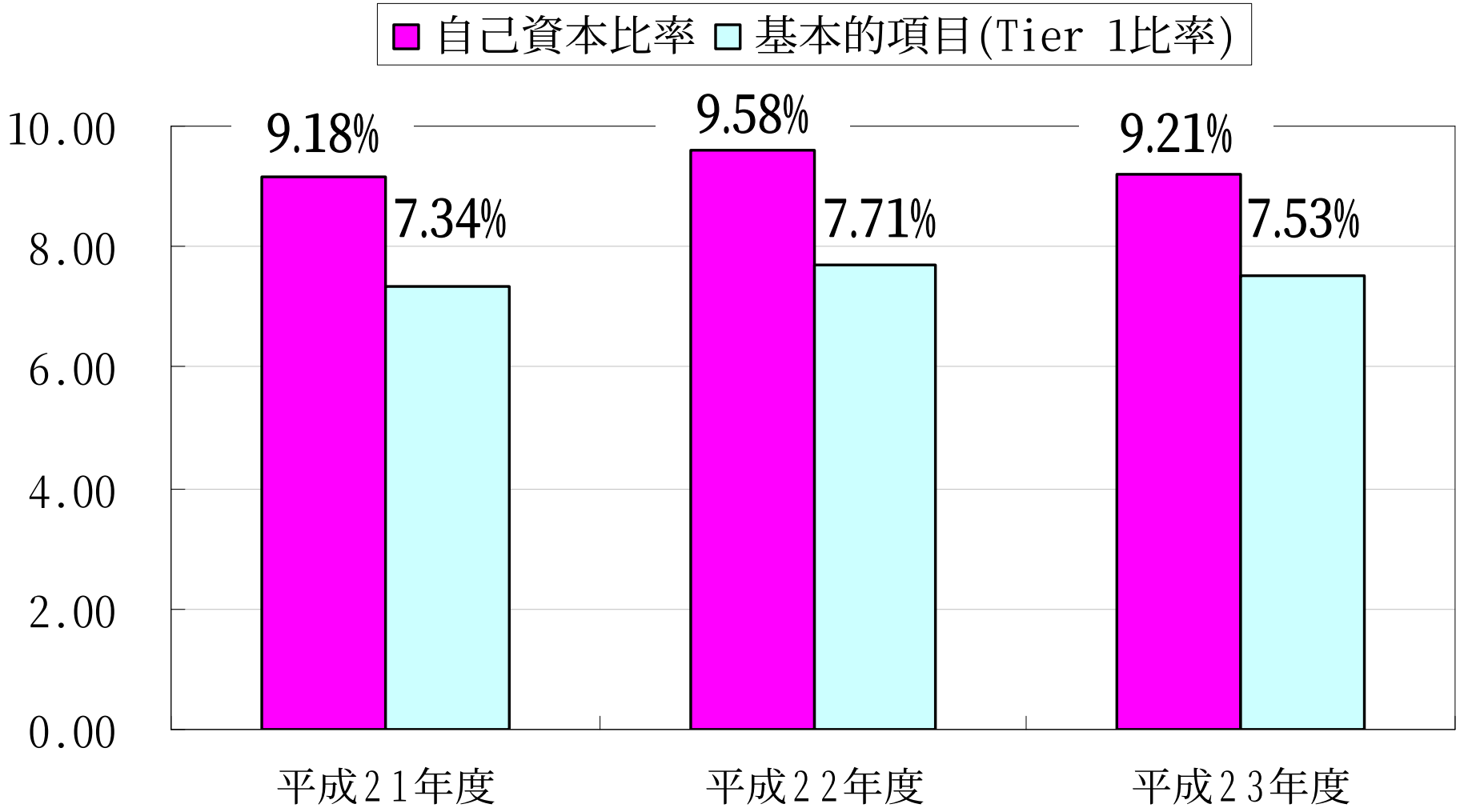
人員の推移



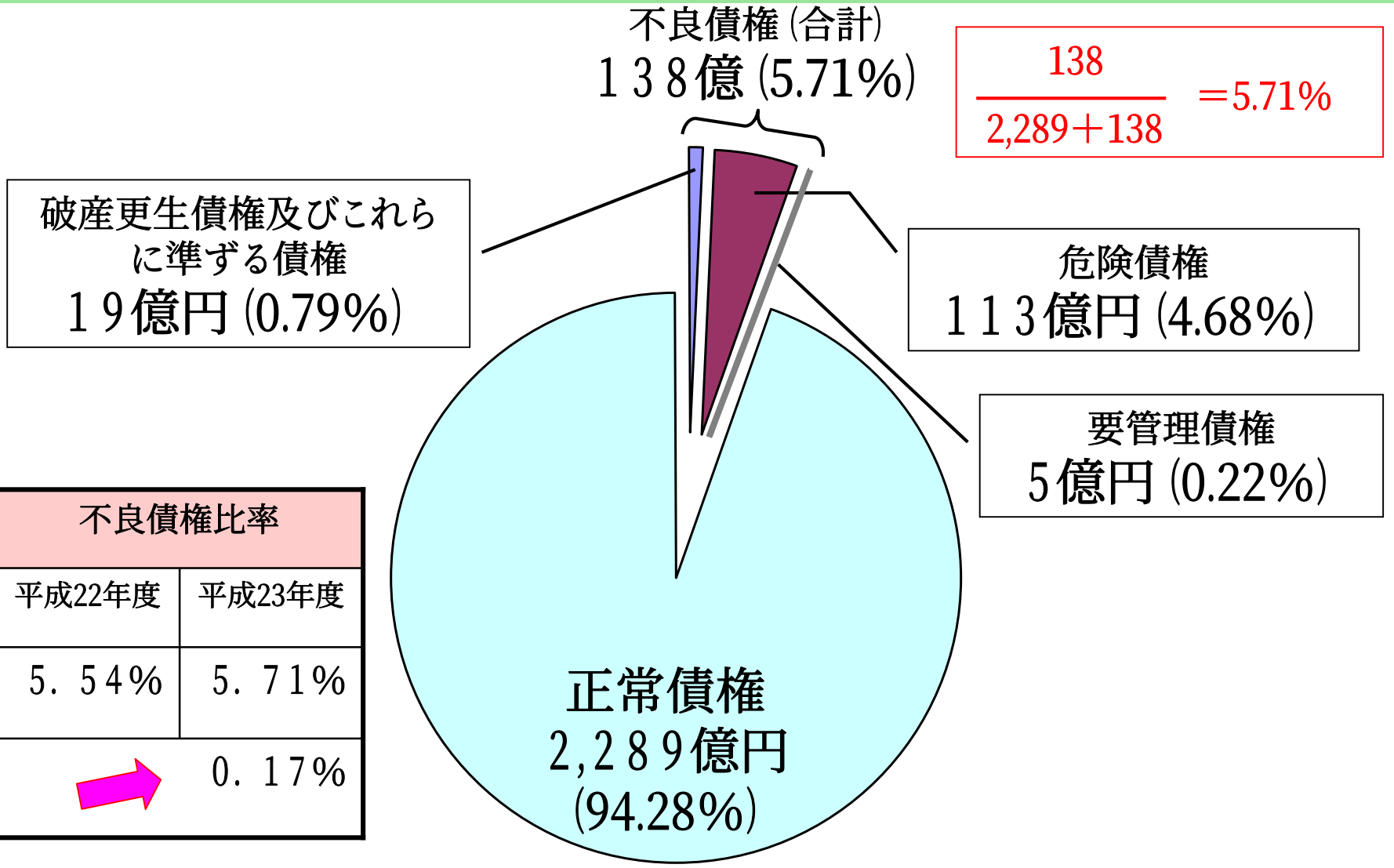
店舗の配置


25ヶ店
9出張所
西郷支店
出雲
松江
境支店
安来支店
米子
雲南
大田支店
江津支店
浜田支店
益田支店
根雨出張所
倉吉支店
鳥取
米子支店
米子東出張所
角盤町支店
米子駅前出張所
出雲支店
出雲東出張所
出雲中央出張所
大社支店
平田支店
斐川支店
大東支店
雲南支店
本店営業部
北出張所
松江駅前支店
南出張所
津田支店
松江卸団地支店
山代支店
黒田支店
上乃木支店
学園通支店
松江営業センター出張所
鳥取支店
鳥取駅南出張所

自己資本と基本的項目(Tier 1)比率



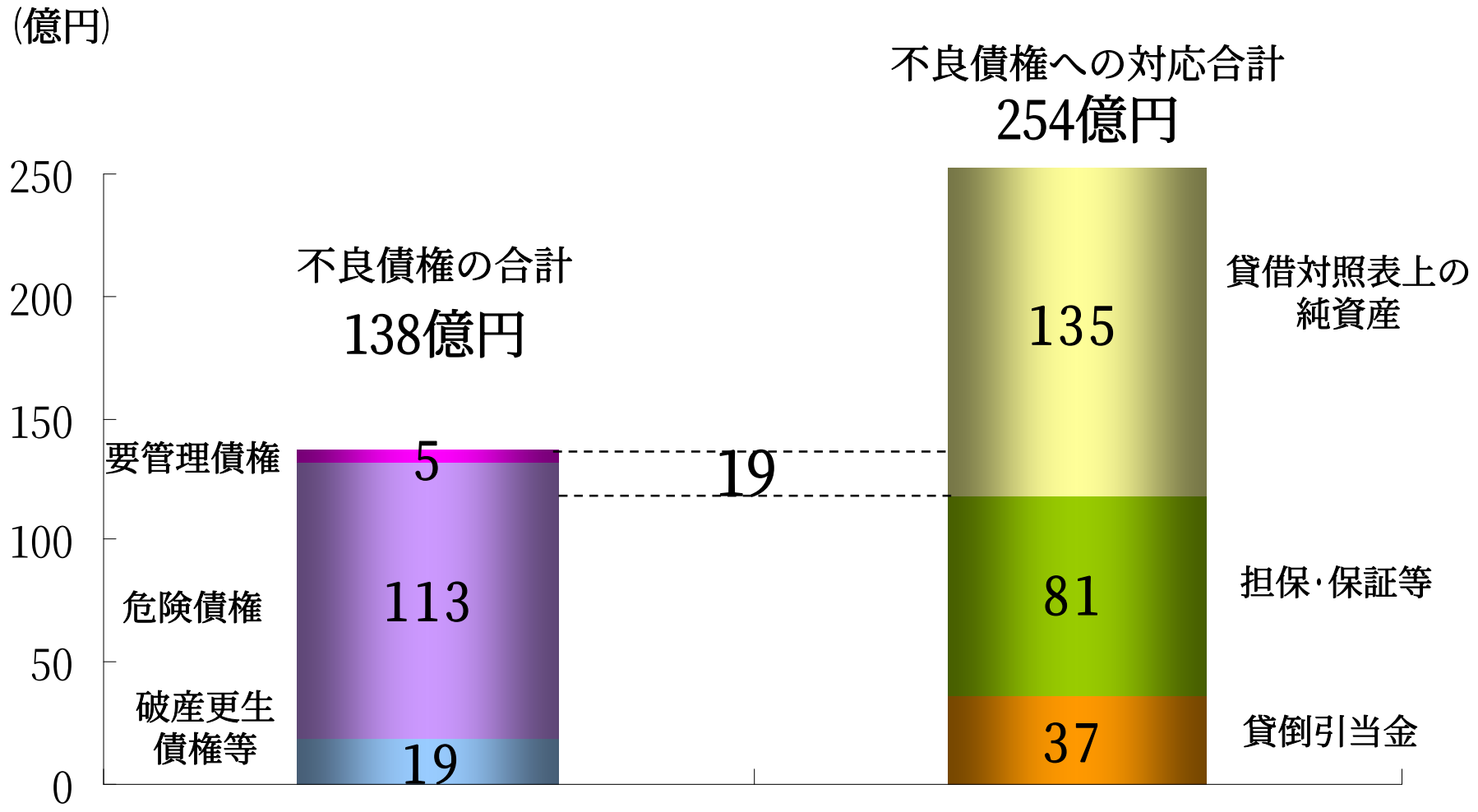
不良債権の内訳（金融再生法）



$$\frac{138}{2{,}289+138} = 5.71\%$$

不良債権比率	
平成22年度	平成23年度
５．５４％	５．７１％
→	０．１７％

不良債権への対応状況


(億円)
250
200
150
100
50
0
不良債権の合計
138億円
不良債権への対応合計
254億円
要管理債権
危険債権
破産更生
債権等
5
113
19
19
135
81
37
貸借対照表上の
純資産
担保･保証等
貸倒引当金

中小企業金融円滑化法への対応状況

(単位:件、百万円)

平成２４年３月末現在

区分		件数	金額
中小企業者	受付	2,265	40,806
	実行	2,088	37,785
	謝絶	63	1,158
	取下	91	1,270
	審査中	23	593
住宅資金借入者	受付	265	2,813
	実行	165	1,830
	謝絶	27	255
	取下	70	711
	審査中	3	17
合計	受付	2,530	43,619
	実行	2,253	39,615
	謝絶	90	1,413
	取下	161	1,981
	審査中	26	610

中期経営計画「躍進の2年」の概要①

計画期間：平成23年4月～平成25年3月

経営理念
(経営方針)

1.地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。

2.常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える。

3.創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

経営ビジョン
(企業価値の向上)

1.フェイス・トゥー・フェイスの精神の下、地域密着型金融をより一層強化し、お客様の各種ニーズへのスピーディーな対応により、地域の活性化に寄与できる銀行を目指します。

2.強固な内部管理体制の下、開示内容の充実を図り、透明性の高い銀行を目指します。

3.計画期間内での東京証券取引所市場第一部への指定を目指します。

戦略ドメイン
(事業領域)

地域金融機関である当行にとって、地域の人と人との繋がりを通じた信頼関係は何にも増して重要な財産であります。金融・経済・社会環境が一段と厳しさを増す中、その絆を一層深め、より強固なものにしていくため、創業来一貫してきた自主独往の精神を貫き、山陰両県を主要エリアとした地域完全密着型経営に徹し、中小企業および個人の皆様の資金運用、資金調達およびその他各種ニーズに積極的に応えてまいります。

中期経営計画「躍進の2年」の概要②

計画期間：平成23年4月～平成25年3月

✓東京証券取引所　市場第一部銘柄への指定



（上場通知書）



中期経営計画「躍進の2年」の概要③

計画期間：平成23年4月～平成25年3月

【数値目標】

✓「経営ビジョン」を達成するために必要な定量水準（「こうありたい」と思う姿を実現するための努力目標）として、以下のとおり「数値目標」を設定。

カテゴリー	項目	平成23年度 （平成24年3月期） 実績	平成24年度 （平成25年3月期） 目標
収益性の向上	経常収益	75億円	79億円
	経常利益	9億円	9億円
	当期純利益	6億円	6億円
健全性の向上	自己資本比率	9.21%	10%程度
	不良債権比率	5.71%	4%程度

「社会貢献活動計画」の概要

計画期間：平成23年4月～平成25年3月

✓企業の社会的責任（CSR）への能動的な取組みとして、社会貢献活動を積極的に推進。

✓役職員の更なる意識醸成に向けて、「社会貢献活動計画」を策定。

地域の活性化

↓

社会貢献活動

地域振興への取組み	地域貢献への取組み
社会問題への取組み	環境問題への取組み
お客様利便性向上への取組み	職場環境整備への取組み

↓

企業価値の向上

↓

＜ステークホルダーの皆さま（主要）＞

地域の皆さま　お客さま　株主の皆さま　従業員

社会貢献活動：お客さま利便性向上への取組み①

■インターネットバンキング等利便性の向上

✓インターネット普通預金の取扱開始

○山陰地区の金融機関では初の取組みとなる通帳を発行しない普通預金です。

○通帳記帳や繰越のために当行窓口にご来店いただく必要はありません。

○当行及びゆうちょ銀行のＡＴＭ時間外手数料が無料です。



社会貢献活動：お客さま利便性向上への取組み②

■インターネットバンキング等利便性の向上

✓ご利用時間の拡大

○以下のサービスメニューについて24時間ご利用が可能です。
・残高照会、入出金明細照会、振込・振替（予約扱い）、定期預金の口座開設・預入・明細照会・解約、依頼内容照会、お客さま情報の変更

✓インターネット定期預金の取扱

■ネットプラス、ネットプラス大口

○通常の店頭金利に0.20～0.40%金利を上乗せさせていただいております。
（平成24年7月現在）



■山陰特産品付定期

○お預け入れいただいたお客さまに、山陰特産品（グルメカタログギフト）をプレゼントさせていただきました。

○取扱期間：平成24年1月16日～平成24年3月30日

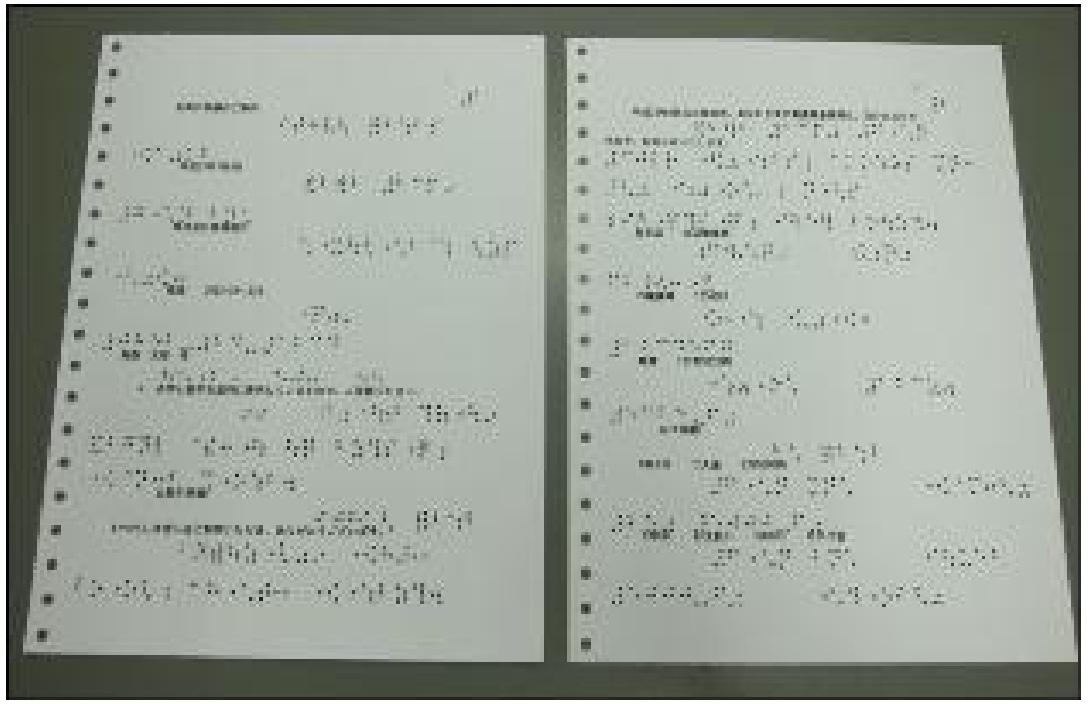
社会貢献活動：お客さま利便性向上への取組み③

■障がいをお持ちのお客さまの利便性向上

✓「点字サービス」の取扱開始

○当行が発行した普通預金通帳の記載内容について、点字により点訳した明細表を発行します。（取扱手数料：無料）

○視覚障がいをお持ちのお客さまご本人のみならず、ご家族等からのお申し出により、取扱いさせて頂きますので、詳しくはお近くの店舗へご相談下さい。



社会貢献活動：地域貢献への取組み①

■地域スポーツの支援

✓島根銀行杯松江家庭婦人
バレーボール大会の主催→





✓島根銀行杯松江レディース
←卓球大会の主催

社会貢献活動：地域貢献への取組み②

■地域スポーツの支援

✓「一畑薬師マラソン大会」の協賛



■ボランティア活動の推進

✓地域行事への参加・協賛



社会貢献活動：地域振興への取組み①

■地域雇用の促進

✓ **当行は、地域経済の振興に少しでもお役に立てる**よう、従来より、安定した雇用の場の提供に努め、毎年、一定の人数を採用し続けております。

＜新入行員採用実績推移＞

(単位：人)

年　度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
新規学卒者	32	30	28	31	39	21	25	28	26

社会貢献活動：地域振興への取組み②

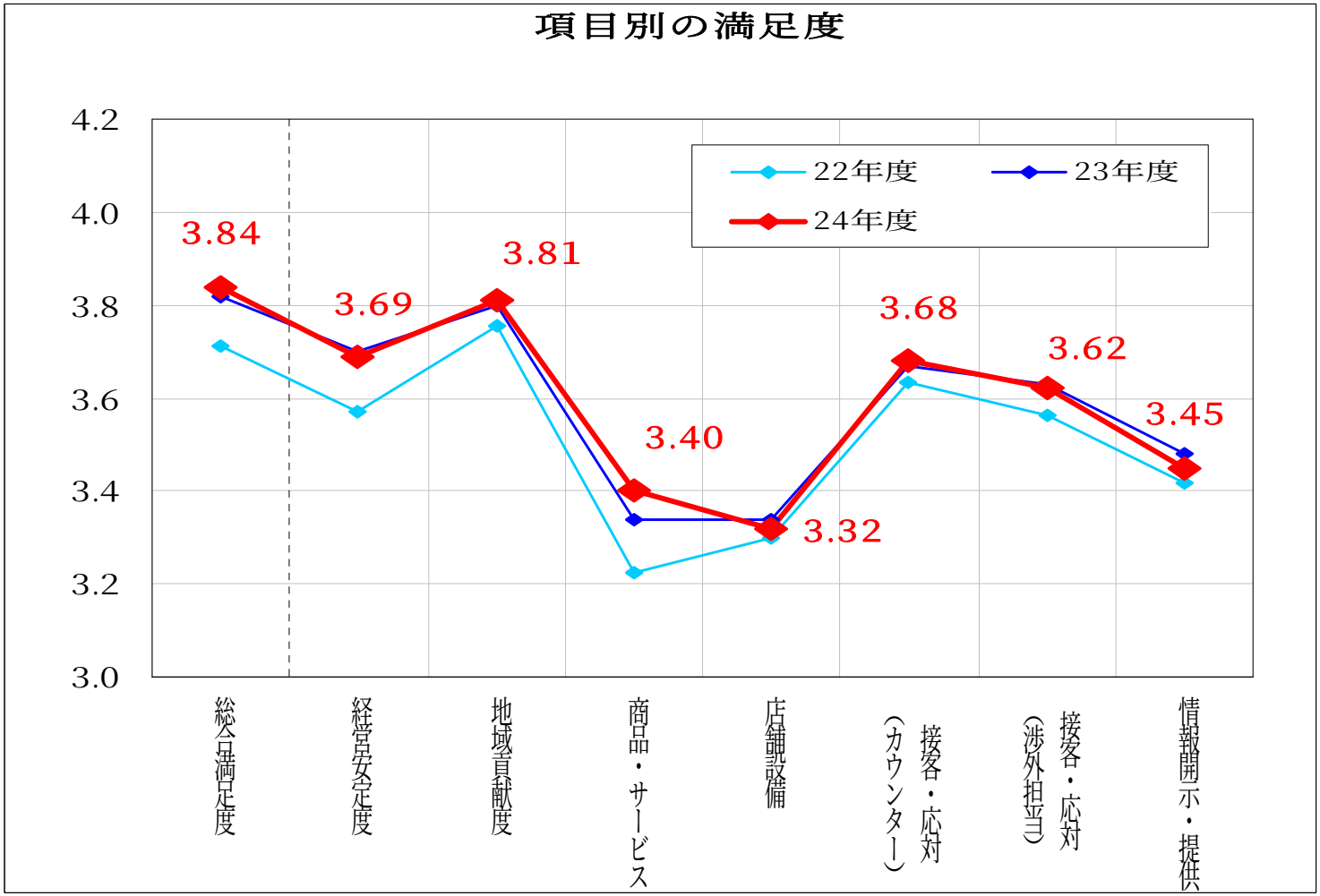
■地域雇用の促進

（新入行員の研修風景）





お客様満足度アンケートの結果



株主還元の方針

自己資本充実による経営体質強化を図る一方で、
継続的･安定的な配当を実施

＜参考：直近5年間の一株当たりの配当額（内一株当たりの中間配当額）および配当総額＞
★22年度（23/3）および23年度（24/3）は記念配当を含む

19年度(20/3)	20年度(21/3)	21年度(22/3)	22年度(23/3)	23年度(24/3)
5.00円	5.00円	5.00円	55.00円	55.00円
(2.50円)	(2.50円)	(2.50円)	(25.00円)	(25.00円)
			★上場記念配当 (5.00円)	★一部指定記念配当 (5.00円)
※[50.0円]	※[50.0円]	※[50.0円]	―	―
※[(25.0円)]	※[(25.0円)]	※[(25.0円)]	―	―
232百万円	232百万円	232百万円	282百万円	305百万円

※：平成22年9月30日を効力発生日として当行株式10株を1株に併合したことに伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値

フレッシュ・コミュニケーション

SHIMANE

島根銀行